

# 高千帆ふるやこと音頭

作詞  
椿岡久寿田原田昭隆  
作曲  
魁耕美二徳一弼弱

## 一 西と東の高泊

有帆高畠千崎を合わせ

ほんに平和な 高千帆の郷土よ  
ほんに平和な 高千帆の郷土よ

## 二 新羅遠征はその昔

神の御船の立ち寄りませし

ゆかり栄えある 高千帆の郷土よ  
ゆかり栄えある 高千帆の郷土よ

## 三 明かり菩提寺山の上

岩の仏に朝日がさして

光り輝く 高千帆の郷土よ  
光り輝く 高千帆の郷土よ

## 四 土の底にも奥深く

石の炭掘り御国に報ゆ

ほんに幸ある 高千帆の郷土よ  
ほんに幸ある 高千帆の郷土よ

## 五

工場の汽笛に目を覚ましや  
早くお出でと煙りが招く

勇み働く 高千帆の郷土よ  
勇み働く 高千帆の郷土よ

## 六

白い手ぬぐい縁襷  
窯が取り持つ硫酸瓶よ

明日は出船か 高千帆の郷土よ  
明日は出船か 高千帆の郷土よ

## 七

男女も手をつなぎ  
沖の広田に八束穂刈りて

稔り豊かな 高千帆の郷土よ  
稔り豊かな 高千帆の郷土よ

## 八

鬼と呼ばれし来島氏の  
立てし功を石にも刻む

伝え学ばん 高千帆の郷土よ  
伝え学ばん 高千帆の郷土よ

## 九

縄地が岬 夏ごぞこれ  
暑き忘れに絵日傘さして

砂に松風 高千帆の郷土よ  
砂に松風 高千帆の郷土よ

## 十

深いゴム靴海の中  
寒き身にしむ海苔採る業に

歌にいそしむ 高千帆の郷土よ  
歌にいそしむ 高千帆の郷土よ